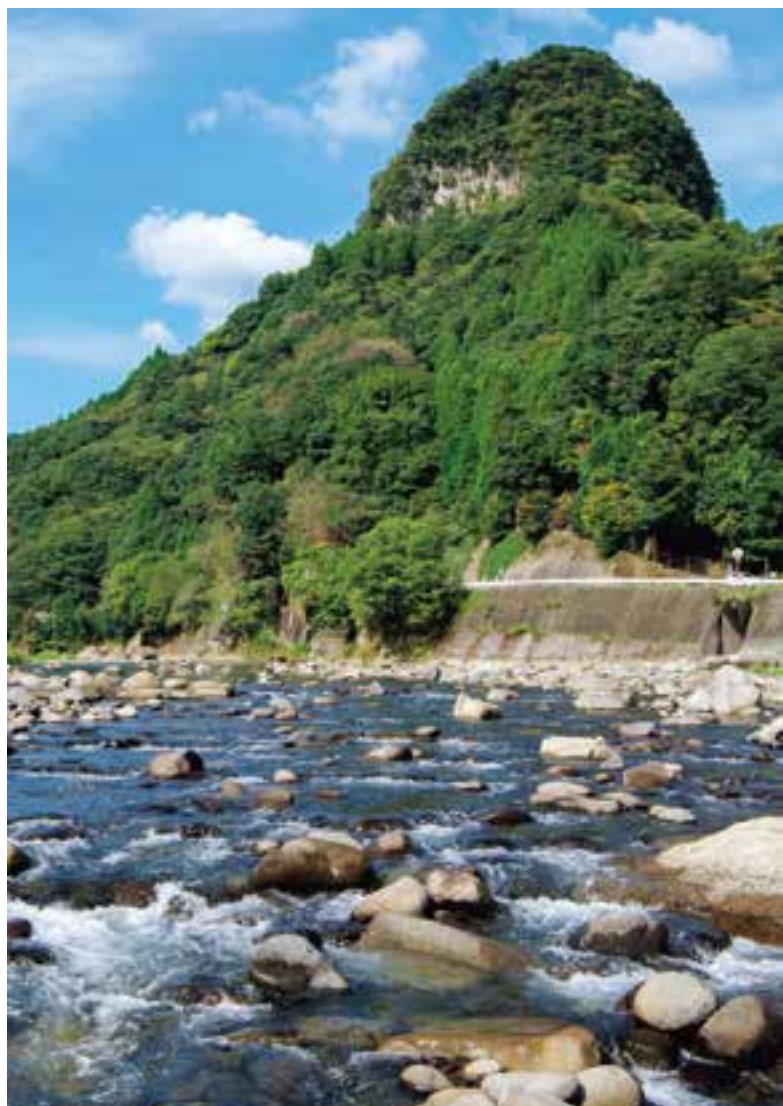




ひとつとしろやま
No.37
一ツ戸城山の景
国道212号を車で走ると、ひととき目立つ山を貫くトンネルがある。この上にそびえる妙見^{ミツミ}嶽に、建久3（1192）年友杉^{ともすぎ}民部^{みんべ}が築城したとされる一ツ戸^{ひとつど}城跡がある。北に一ツ戸川、南に神谷川、真下に山国川という自然の堀を有し、山中に様々な遺構が残る。交通の要所でもあり、文化2（1805）年に掘られた一ツ戸^{ひとつど}隧道^{とどう}がトンネルの外側に一部残っている。この地を訪れ宿泊した頼山陽は、隧道の明かり窓から見た川に映る月の美しさを『馬溪図巻記』に記している。（[●]なし）

あまのいわと
No.38
天ノ岩戸の景
耶馬溪の中でも一番驚かされた景かもしれない。静かな集落の奥、そのまた奥の山中に、突如巨大な天然の石橋が現れる。取り付きは、駐車場向かいの小道から、川に降り渡渉した先に道標がある。木の階段、舗装路を抜けると、荒れた谷に出る。足元に注意しながら登った先に看板がある。右に取ると天ノ岩戸。左へさらに登ると見事な西京橋が現れる。文人たちは「仙人梁」と呼んでいたようだ。京岩の西に位置することから「西京橋」と呼ぶようになったようだ。西京橋の奥には巨大な窟、豊前坊がある。ここから見下ろす橋も迫力がある。景への山道は少々荒れていて注意が必要。京岩から5分ほど先の右手に駐車所がある。（[●]あり）

奥耶馬溪

岩と水を訪ねて耶馬溪の奥へ
城、橋、溪を探し山奥へ。
そして山国川の上流へたどり着いた。



きやういわ
No.39
京岩の景
道の駅やまぐにの手前から県道646号に入り、4キロほど先の雪舟庭（個人所有）から見ると、京岩の景が借景となり、庭に趣を添えている。手前の岩はイヌワシが住んでいたことより鷲岩、奥の岩は京都の巨石よりも大きかったことより京岩と呼ばれる。雪舟庭は、春は唐椿、初夏はツツジ、夏はホタル、秋には樹齢500年の金木犀が香り紅葉が色づいた後、雪が庭を包む。（[●]なし）



景の今と昔

窓岩の景

平安時代に鎮西八郎為朝がこの地を訪れ岩に向かって放った矢が、岩に穴を空けたという伝説が残る。今は樹木が生い茂り窓は見えない。(Pなし)

朝陽峰の景

守実集落の朝陽橋北側にそびえる岩峰。景内には宮「やすらぎの郷やまくに」からよく見える。(Pなし)

宇曾の景

三郷小学校の北側にそびえる岩峰群。弁慶岩、妙見(岩など岩が群がる様から「群仙峯」と呼ぶ。今は木立に隠れて分かりづらい。妙見菩薩を祀る洞窟もある。(Pなし)

耶馬溪の景勝地は、樹木が生い茂り往時の姿を失ってしまったものも多い。古い写真で昔の姿を見てみよう。

朝陽峰の景

守実集落の朝陽橋北側にそびえる岩峰。景内には宮「やすらぎの郷やまくに」からよく見える。(Pなし)

宇曾の景

三郷小学校の北側にそびえる岩峰群。弁慶岩、妙見(岩など岩が群がる様から「群仙峯」と呼ぶ。今は木立に隠れて分かりづらい。妙見菩薩を祀る洞窟もある。(Pなし)

奥耶馬溪エリアMAP



猿飛の景

別名「猿飛千壺峡」と呼ばれる国指定天然記念物。山国川上流の一帯は、岩や川底に大小無数の穴が見られる。大昔、耶馬溪は海底だった。この地域に見られる岩石は溝部式変朽安山岩と呼ばれ、岩石とその窪みに溜まった小石の堅さが同じ性質を持つ。これにより、水流で小石が回転すると岩が削られ、長い年月をかけ深い罅穴が造られた。つり橋を渡った対岸には遊歩道があり、違った角度から眺めることができる。(P・トイレあり)

念仏橋の景

猿飛の景の下流にある念仏橋の一帯は、たくさんの罅穴が巨大化し、隣り合う壁が水流で破壊されたことにより、切り立った深い渓谷が形成された。人々が橋の上から覗き込んだ深い谷を恐れ、念仏を唱え渡ったことから念仏橋と呼ばれる。また、念仏橋下流には「魔林峡」と呼ばれる峡谷があり四季折々の顔を楽しめる。(Pあり)





崩壊箇所の先にある一枚岩。沢登りの装備が必要。



苔むした木道が数箇所出てくる。

麗谷の景
（深耶馬溪及び麗谷の景）
No.48-3
 深耶馬溪は駐車場と展望台の往復で終わってしまうことが多いが、ぜひその先の自然歩道を歩いてほしい。表通りから1歩森の中に入るだけで、苔むした静寂の世界に包まれる。展望台から徒歩約5分の場所に案内板がある。ここから対岸に渡る。遊歩道は途中の台風被害による崩壊箇所で遮断される。その先は沢歩きが続くため、装備が必要。無理せず引き返そう。ここまででも十分渓谷歩きを楽しめる。📍深耶馬溪駐車場

山移川を渡った先は、静寂の世界。



一目八景展望台から見た夫婦岩(左端)。

深耶馬の景
（深耶馬溪及び麗谷の景）
No.48-1
 一目八景展望台からは、群狼山、鷲ノ巣山、四手の尾、夫婦岩、雄鹿長尾の峰、烏帽子岩、仙人岩、海望嶺の8つの岩を望むことができ、その名の通り岩峰をぐるっと一望できる景観だ。紅葉時季、駐車場から展望台までの道は多くの人で賑わう。平家の落人が伝えたという名産品の蕎麦屋も多い。展望台の先では、平成28（2016）年の地震被害で鷲ノ巣山山腹の石柱岩が崩落した様子を間近で見られる。北側に観光案内所のある広い深耶馬溪駐車場がある。📍トイレあり

軍艦岩。展望台から県道28号を玖珠方面へ進むと川の中に見える。



深山幽谷ここにあり

深耶馬溪

深い深い谷に分け入ると、岩、水、緑、紅葉、耶馬溪をつくる全てがそこにあった。

山移川筋の景
（山移川筋の景）
No.47
 深耶馬溪の入口から玖珠28号沿いに様々な名付けられた岩が並ぶ。写真は軍艦岩。📍なし

深い谷にかき分けて入り込むような感覚になる。県道28号沿いに様々な名付けられた岩が並ぶ。写真は軍艦岩。📍なし

津民耶馬溪、本耶馬溪、東耶馬溪、奥耶馬溪、裏耶馬溪、南耶馬溪、椎屋耶馬溪、深耶馬溪



No. 46 高さ5メートル、奥行18メートルはあ
ると思われる洞窟で、土蜘蛛耳垂族が住
んでいたとされる。藪をかき分け進んだ
先にあるが、窟の中はきれいに手入れさ
れている。そっとしておきたい景。道中
は道が消えていて非常に危険（なし）

蜘蛛ノ窟の景

小高い丘にボツンと人型の巨石がたたず
む。地元では「岳切にあつた岩が、まかない
が悪いから水と米が取れるこの集落に飛ん
できた」と伝えられているという。県道60
2号と岳切渓谷をつなぐ町道の南側の丘の
上に見える。岩の下へは大城隧道西側の三叉
路を上り詰める。道は荒れている。（なし）

不動岩の景



折戸の景 (深耶馬溪及び麗谷の景)

No. 48-2 折戸温泉の正面に岩峰が迫る。県
道28号を鳴良で院内方面へ入り、県
道27号を進む。（あり）

大谷溪谷の景 (深耶馬溪及び麗谷の景)

No. 48-5 耶馬溪溶岩により形成された一枚
岩の川底が、約10キロ続く広い溪谷。
夏は浅い溪谷を沢歩き、秋は溪谷美
と紅葉を楽しめる。（なし）

錦雲峡の景 (深耶馬溪及び麗谷の景)

No. 48-4 深い谷の両側に絶壁が迫る。県道
28号を玖珠方面へ向かい、錦雲峡入
口バス停から左折してすぐ右手が景
の入口。（なし）

